

基本的な介護の方法

介護職の役割や介護の専門性

社会福祉法人楽晴会 世田谷希望丘ホーム

介護職 飛松辰弥

自己紹介

- ▶ 講師：飛松 辰弥 36歳 独身 男性
- ▶ 社会福祉法人楽晴会 世田谷希望丘ホーム （特別養護老人ホーム）
- ▶ 担当職種：介護職 ユニットリーダー フロアリーダー
- ▶ 資格：介護福祉士
- ▶ 経験年数：10年ぐらい

楽晴会とは (ホームページより)

齊藤 淳 理事長より



あいさつ

初めまして、私たちは社会福祉法人楽晴会と申します。当会は、創業以来50年余り、高齢者の介護福祉事業のほか、発達障害や知的障害のあるお子さんが対象となる児童デイサービス、就労支援の事業も行っています。私たちは、福祉において「人の心」に近づくことを大事にしています。お客様のつらい心、不自由な心、人に依存しなければならない自分へのあきらめの気持ちを察して、感じて、その心を理解して支えて行こうと考えています。21世紀、日本は確かに豊かな暮らしを手に入れました。しかし、地域にはまだまだ社会から孤立しがちな人々がたくさん暮らしています。楽晴会は、その多様な立場の人々が共生できる成熟した社会をめざし、新しい福祉のあり方を追求して行きます。

社是

▶ 社是

- ▶ 介護の必要な人の上に立たず、その心に下りて為すを第一
- ▶ 社会の必要の外に在らず、その中に在りて為すを第二
- ▶ - 当事者と共に地域を耕し、当事者をして社会を照らす -

経営理念

▶ 経営理念

- ▶ お客様・職員・地域住民の物心両面の幸福を
- ▶ 介護サービス事業活動を通して追求し、
- ▶ 世界の人類愛と地域創造に貢献する。

品質方針

▶ **楽晴会品質方針**

▶ ENJOY CARE LIFE

▶ お客様と職員と地域住民のエンジョイ

事業所紹介

- ▶ 楽晴会は法人本部が青森県三沢市にあります。
- ▶ 主に青森県内に様々な事業所が多数存在しています。
- ▶ 東京には世田谷拠点が存在します。
- ▶ ・ 特別養護老人ホーム 世田谷希望丘ホーム
- ▶ ・ ホーム併設の短期入所生活介護（ショートステイ）
- ▶ ・ 都市型軽費老人ホーム トラスト希望丘
- ▶ ・ 小規模多機能型居宅介護 世田谷希望丘コラボケアセンター
- ▶ 以上4事業所が存在します。

世田谷希望丘ホームの住所と電話番号

156-0055

東京都世田谷区船橋6丁目25番25号

TEL : 03 - 5316 - 5388

FAX : 03 - 5316 - 5387









介護における倫理

介護の仕事は高い職業倫理が問われる仕事。

「ケアを提供する人（介護者）」

「ケアされる人（利用者）」の立場の違いが見え隠れする。

- ・ 立場の違いって何？
- ・ 倫理って何？

- ▶ 実際、現場の職員は何を考えながら仕事をしているのか？
- ▶ 利用者はどんなことを考えている？

倫理

人として守り行うべき道。善悪・
正邪の判断において普遍的な基準
となるもの。

道徳。モラル。

介護の専門性

○ 介護の仕事って何？

オムツ交換・食事介助・入浴介助←世間のイメージ

介護の仕事は誰にでもできる？

一応、資格がなくてもできる仕事ではある。

家族介護と施設での介護の違い。

家族介護 = 面倒を見る。24時間、家族が付きっきり。

施設介護 = 支援をする。ケアをする時間がシフトによって割り振られている。

○ 専門職として働く介護職員は何が求められる？

利用者の生活課題を見つけ、

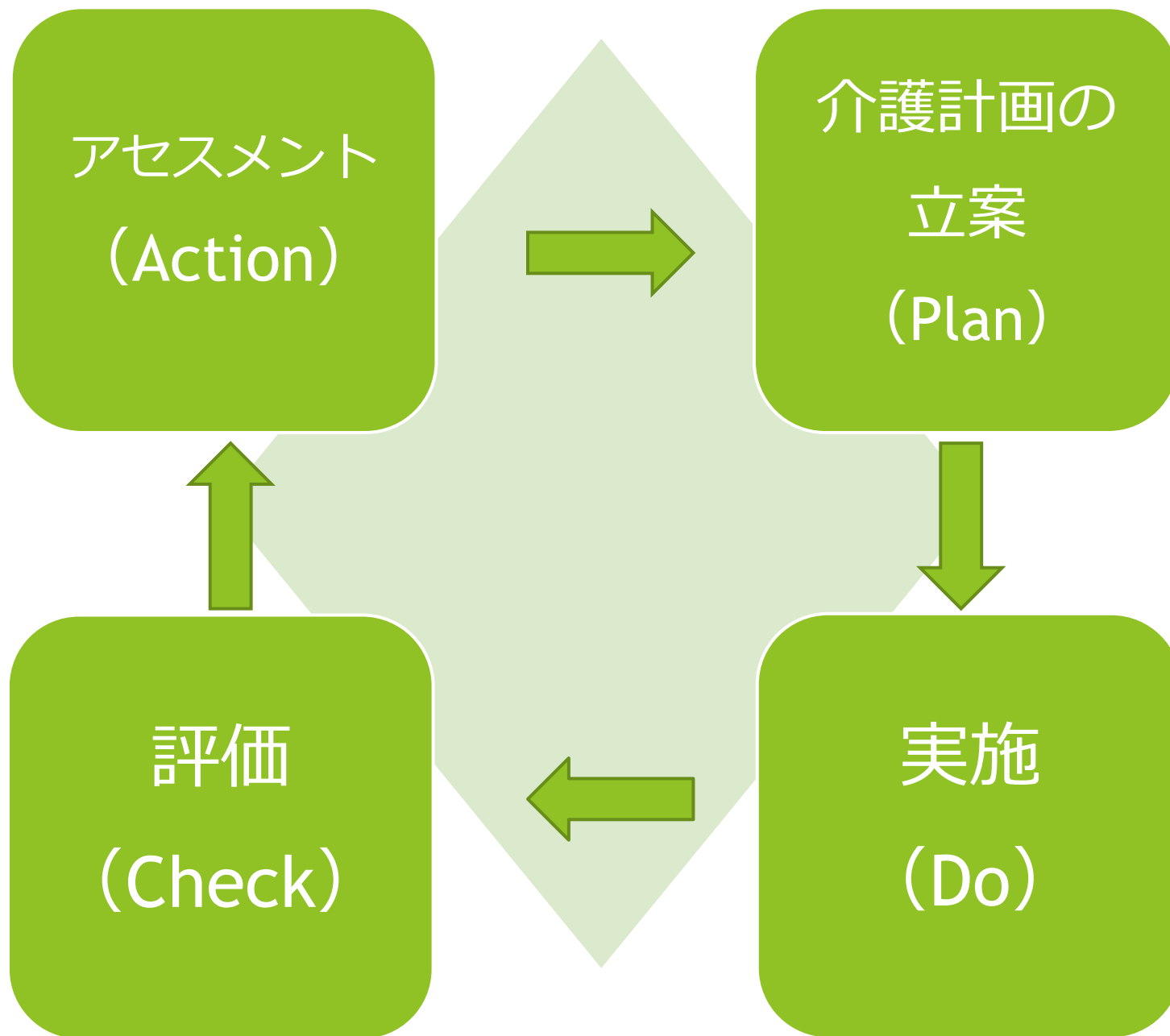
今よりも良い生活を実現する為・利用者の望む生活に近づける為に必要な介護方法を見出し支援することが求められる。

→介護過程と呼ばれる介護の基本的な考え方。

生活課題の例

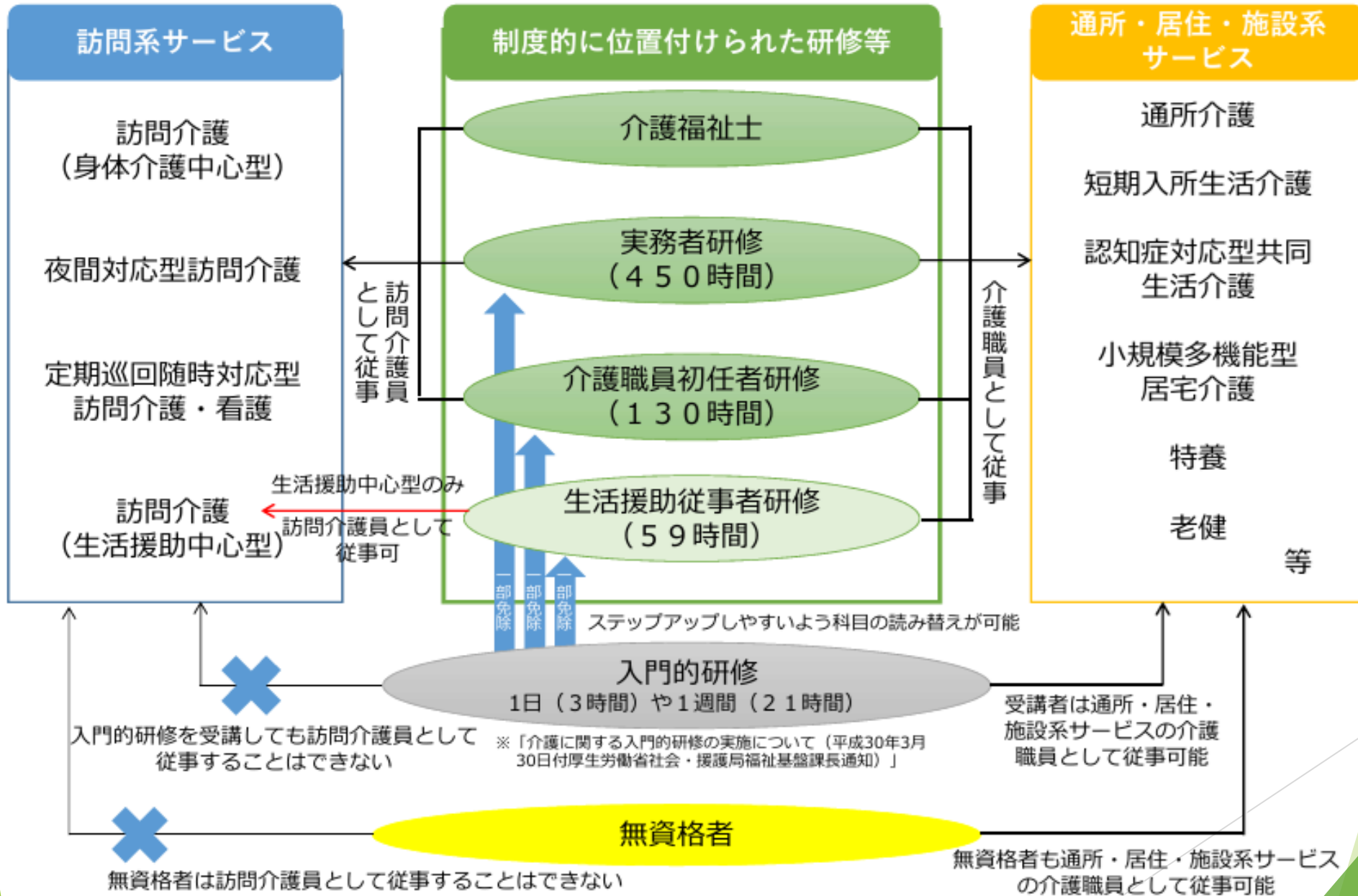
- ・ 食事がうまくとれない。
- ・ 歩けなくなってきた。
立てなくなってきた。
- ・ 活動を増やしたい。
- ・ 生活をする上で困ったことがある。 などなど

介護過程



介護の資格と就業について

入門的研修と各種研修等との関係



主な介護の資格

○入門的研修

未経験者向け

○生活援助従事者研修

訪問介護員になりたい人向け

○介護職員初任者研修

介護職員として働きたい人向け

未経験・経験者ともに受けたほうがいい
(飛松の個人的な意見)

○実務者研修

介護福祉士を取得したい人は受けなきゃいけない。
受講必須。

○介護福祉士（国家資格）

国家試験に合格すると得られる。実務者研修受講と
実務経験3年で受験可能。

○認定介護福祉士

介護福祉士の上位資格。

資格を取るメリット

○基礎を抑えることができる

○就活に有利

○待遇（賃金など）が優遇されることも

求められる介護福祉士像

○尊厳

個人が活着ている存在として命・生活が尊重される価値があるもの。

すべての人が生まれながらに持つ「人として生きる権利」。

尊厳を守るということは「その人の人格を尊重し、その人が自分のことを決め、自分らしく生きる事を大切にすること」

例え、高齢となり認知症などで身体が不自由になったり、判断能力が奪われたとしても「自分のことを自分で決めて自分らしく生きる」

権利を奪ってはダメ。

○エンパワメント

マイナスの側面ではなく、その人自身が自分の長所や得意なことに気づき、それに対して援助をすること。

介護施設においては利用者をサービスを受ける受動的な存在ではなく、どのようにサポートすれば本来持っている力を活かせるかを考えてケアにあたることによって利用者本人にも自信がついて、リハビリ活動などに積極的に参加してくれることにもつながる。

○多職種協働（多職種連携）とは

異なる専門分野を持つ職種が協力し、共通の目標に向かって職務にあたること。

○福祉の分野

社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士・医療
ソーシャルワーカーなど

○医療の分野

医師・看護師・保健師・理学療法士・作業療法士・
言語聴覚士など

質疑・応答